

<国営讃岐まんのう公園事務所>

逆様池の堆積土を利用し、豊かな里山づくり

～循環作用で一石三鳥～

平成18年1月26日

国土交通省四国地方整備局

国営讃岐まんのう公園事務所

問い合わせ先

国土交通省四国地方整備局国営讃岐まんのう公園事務所

TEL (0877) 79-2933 FAX (0877) 79-3247

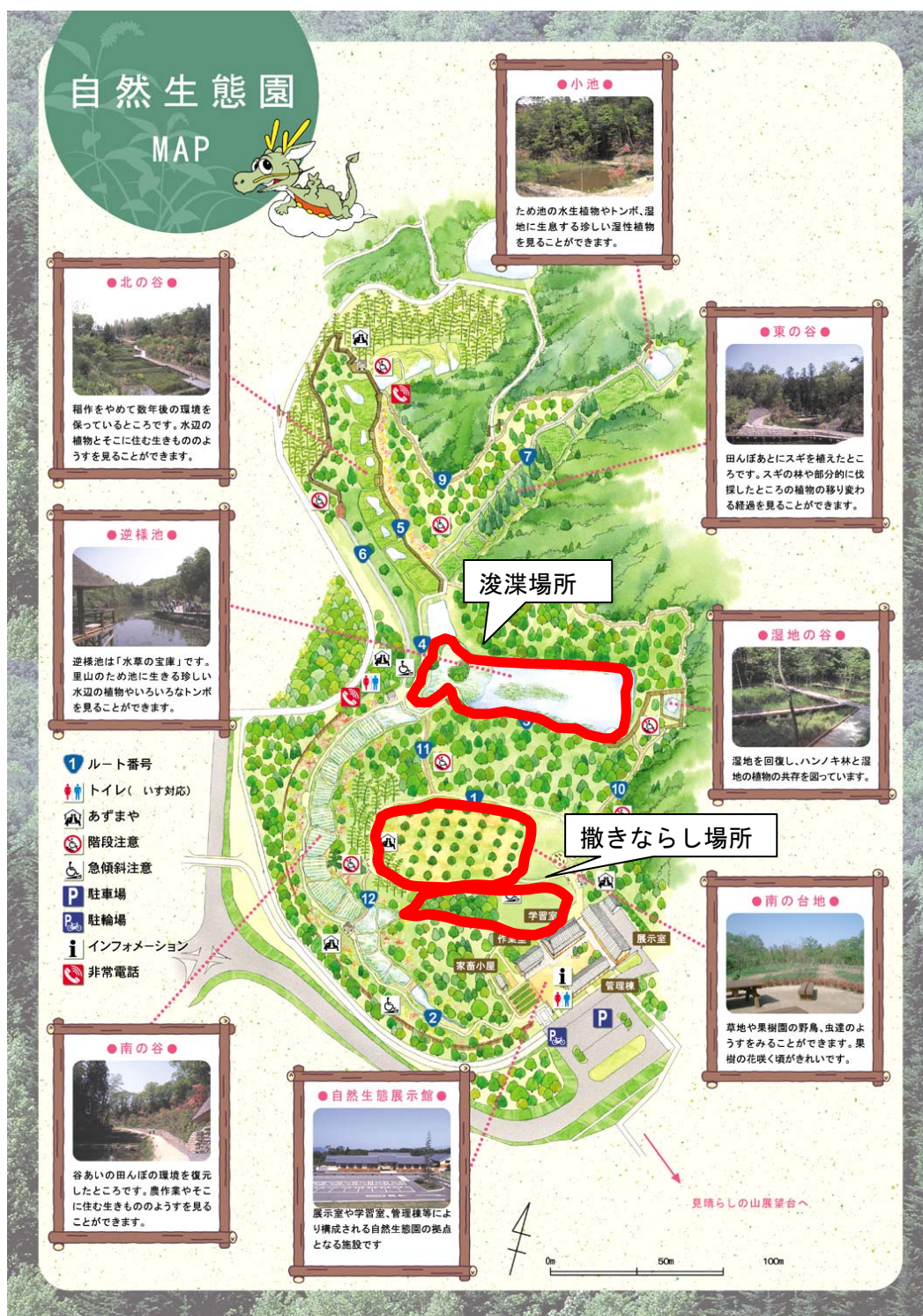
工務課長 高木 学 (タギ・マブ) (内線311)

調査設計課長 福岡 文典 (フカ・ファミ) (内線351)

逆様池の堆積土を利用し、豊かな里山づくり【発表資料】

1. 実施日時 平成18年2月1日(水)～4日(土) 各日9時～17時

2. 実施場所 国営讃岐まんのう公園 自然生態園内の逆様池およびその周辺



3. 概要

国営讃岐まんのう公園の自然生態園内の逆様池の堆積土を浚渫し、その土を上流の里山に敷きならします。

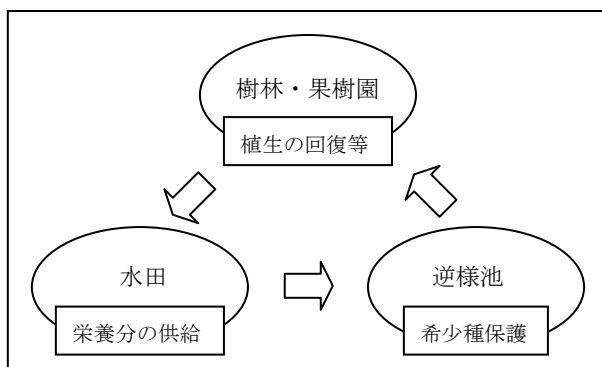
① 目的

自然生態園は、昔ながらの讃岐の里山の風景である「ため池のある里山」の環境を保全し、生きものにふれながら、自然の仕組みや人と自然の関わりについて学ぶことができる空間です。

ため池の「逆様池」には、ナガエミクリ※、ヒツジグサ※などの貧栄養の水質を好む水生植物が多く生育していますが、池底の落ち葉等の富栄養化により、池全体が富栄養状態になりつつあり、保全・育成しているこれらの希少種への影響が危ぶまれています。そこで、前回の浚渫（平成9年）に引き続き富栄養化した堆積土の浚渫を行うこととしました。

浚渫された土は、逆様池周辺の樹林や水田から長年にわたり流れてきたものであり、多くの草花の種子と養分を含んでいます。これらの種子は長年水中にあります。休眠しているだけで地表に蒔けば発芽するものです。そこで、この土を有効活用するために里山の植生がなかなか回復していない場所を中心に敷きならし、植生の回復を図ります。

また、敷きならした場所の下流には水田があり、その養分は自然に水田の栄養分となることから、昔ながらの里山の循環作用が回復できると考えています。



自然生態園の循環イメージ



平成9年の浚渫状況

② 作業工程

- 第1日～3日目：ポンプによる堆積土の浚渫
- 第4日目：浚渫土の敷きならし

③ 監修

- 本作業は、和歌山大学システム工学部の中島敦司助教授の指導のもとに実施します。